

週 報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 7 年 4 月 22 日



豊中ロータリークラブ

第 3041 例会

第 2635 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2024~25 年度
国際ロータリー会長
ステファニー・アーチック
(マクマーリー・ロータリークラブ)

Rotary
Toyonaka



2024.7~2025.6
会 長 眞下 節
副 会 長 村司辰朗
幹 事 米田 眞
雑誌・広報・会報委員長
小寺潤一

本日（4 月 22 日）のプログラム

「大阪大学理学研究科における D&I の
取り組みについて」

卓 話 担 当：近 藤 忠



次回（5 月 13 日）のプログラム

「国際奉仕月間に因んで」

国際奉仕委員長 藤田 充男

会長の時間

「今も日本は黄金の国ジパング」

2024-25 年度 会長 眞下 節

マルコポーロは、東方見聞録で「日本は黄金の国」で金を大量に産出する国と紹介しています。過去だけでなく今も日本は黄金の国ジパングであって、わが国の金の埋蔵総量はなんと 6,800 トンにもなり、これは全世界の現有埋蔵量の約 16%に匹敵します。しかし、小さな国土に関わらず、なぜわが国は金の埋蔵量が多いのでしょうか。その秘密は火山と地震にあります。

金鉱脈の形成は火山活動や地震と深く関係していると言われています。最近、火山の大噴火で生まれた西ノ島には 2.8 兆円もの金鉱脈が形成されて眠っていると推定されています。火山ではマグマの熱により温められた地下水が大規模に循環し始めます。この熱水にマグマから分離した金を含む熱水が加わり、地下の岩盤の割れ目を通して地表に湧き出します。その途中で、金は石英と共に割れ目に沈殿して金を含んだ石英鉱脈ができます。

一方、地震が金鉱床の形成に重要な役割を果たしていることも判ってきました。採掘される金の 75%は石英塊の亀裂部に蓄積した金に由来しています。最近、豪州のモナシュ大学のヴォイジー博士らは、地震によって生じる地質学的応力が石英に圧電効果をもたらし、マグマから分離して地下水に溶解している金ナノ粒子を電気的に引き付けて石英金鉱床を形成することを Nature Geoscience に報告しました。金ナノ粒子と石英の結合を助けるのが地震ということです。

金相場が高止まりしている世界を眺めてみると、火山と地震の国に住むわれわれ日本人は非常に複雑な気持ちになります。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事 務 局：9 時～15 時（土日祝を除く）

H P ア ド レ ス： <https://toyonaka-rc.jp>

メー ル ア ド レ ス： jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆出席報告☆

	第3040回	第3037回
例 会 日	4 月 6 日	3 月 4 日
① 会員数 A	29	29
(内出席免除者)	6	6
② 出席義務者数	23	23
③ 出席義務者出席数	9	14
④ 出席免除者出席数	3	3
⑤ メイクアップ数		3
⑥ 出席義務者欠席数	14	9
出席率 %	46.15%	76.92%

出席率 (3040回) ③+④/②+④ 出席率 (3037回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

- ・国際ロータリー第 2660 地区より
「2024-25 年度ロータリー国際大会（カルガリー）第 2660 地区 大阪ナイト最終案内」が届きました。
「25-26 年度(2026-27 年度派遣)青少年交換プログラム募集要項」が届きました。
- ・大阪そねざき RC より
「2024-25 年度第 6 回及び 2025-26 年度第 1 回 IM 第 1 組 会長・幹事会のご案内」が届きました。
- ・大阪梅田 RC より
「次年度ガバナー補佐訪問のご案内」が届きました。
- ・大阪北 RC より
「ボウリング担当者決定のお願い」が届きました。

掲 示 板

- ・第 11 回定例理事会・第 6 回被選理事会開催
日 時：2025 年 5 月 13 日（火） 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー1F かやの間
- ・第 6 回 IM 第 1 組会長・幹事会及び第 1 回次年度会長・幹事会
日 時：2025 年 5 月 14 日（水） 16:00～20:00
場 所：ヒルトンホテル大阪
- ・エキスポフェスタ
日 時：2025 年 5 月 20 日（金）
場 所：ホテルグランヴィア大阪
- ・次年度のための地区会員増強セミナー
日 時：2025 年 5 月 24 日（土）
場 所：大阪 YMCA 国際文化センター

5 月の休会のお知らせ 5 月 6 日、20 日
事務局のお休み 4 月 29 日～5 月 6 日

😊2025 年 4 月 1 日のニコニコ😊

- ・誕生日祝いを頂いて
村司、眞下、宮田、船橋各会員
- ・結婚記念日祝いを頂いて 澤木会員
- ・親睦ゴルフで会長賞を頂きました。
松尾会員
- ・欠席のお詫び 松本会員

豊中 RC&大阪中之島 RC 連携シンポジウム

日 時：2025 年 4 月 17 日（木）
場 所：中之島フェスティバルタワー12 階

喫煙と呼吸器疾患

大阪大学呼吸器科外科 前教授
大阪大学 名誉教授
大阪刀根山医療センター 院長

奥村 明之進



膝の痛みに対する成長因子注射の効果 健康寿命とのかかわりについて

戸田リュウマチ科クリニック 院長

戸田 佳孝



豊中 RC の奥村医師と大阪中之島 RC の戸田医師による連携シンポジウムにはたくさんの方がお越しになり、オンラインでもたくさんの方が受講されました。
お二人の貴重なご講演有難うございました。

豊中 RC 会長 眞下 節



「信託 100 年の発展と歴史」

卓 話 担 当 : 矢 吹 嘉 孝

皆さんは、「信託」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべるでしょうか。資産運用？ 遺言？ それとも、なんだか難しそうな仕組み？ でしょうか。実はこの「信託」、私たちの社会の変化に合わせて、100 年以上にわたって進化し続けてきた、非常に柔軟で奥深い仕組みなのです。本日は、そんな“信託の 100 年”を、商品という切り口から、お話しさせていただきます。

■信託の幕開け — 明治時代、海を渡ってきた発明品

信託が日本にやってきたのは、明治 30 年代。米国から伝わったこの新しい金融技術は、最初は「有価証券を預かって、誰かのために管理・運用する仕組み」としてスタートしました。でも、当時の人々にとっては、まだ馴染みのない制度。制度の整備が進み、信託業法ができるのは 1922 年、大正 11 年のこと。つまり、日本の信託は、世界大戦や金融危機の混乱のなかをくぐり抜けながら、社会に根を張っていったのです。

■貸付信託というヒット商品 — 戦後復興を支えた陰の立役者

信託の歴史において、最初の“国民的ヒット商品”といえるのが、1950 年代の「貸付信託」。戦後の焼け野原に立ち上がった日本で、企業にお金を貸し出して復興を支えるという、大胆な仕組みでした。「安全・有利・便利」を掲げた新聞広告が街にあふれ、信託銀行の店舗には預金者が列をなしたといえます。このときの信託は、まさに“国家と国民をつなぐ架け橋”のような存在だったのです。

■鉄道を走らせ、ビルを建てた信託 — モノから都市へ

1950 年代後半になると、今度は「動産設備信託」や「土地信託」が登場します。たとえば、鉄道会社が車両を信託銀行に譲渡し、その代金を資金にして新しい列車を走らせる。あるいは、使われていない土地を活用して、信託の仕組みで高層ビルを建て、都市開発を行う。信託は、単なる“お金の入れ物”から、“都市の未来を形づくるインフラ”へと姿を変えていったのです。1980 年代、神戸の六甲アイランドなども、実は信託が大きな役割を担っていたのをご存じでしょうか？

■人の人生に寄り添う信託 — 高齢化と相続の時代に

そして現代。信託は、いよいよ「人の人生そのもの」に深く関わるようになっていきます。代表的なのが「遺言信託」や「遺言代用信託」。“人生の最後に、自分の意思をきちんと託す”というニーズに応えるもので、年々その利用者は増えています。また、認知症の不安に応える「後見制度支援信託」、孫の学費を非課税で支援できる「教育資金贈与信託」など、信託は、家族のかたちや人生設計に寄り添う“人間味ある仕組み”へと進化しています。

「信じて、託す」—その言葉どおり、人と人との信頼を結ぶかたちが、ここにあります。

■そして未来へ — トークンとブロックチェーン時代の信託

さて、信託はこの先どうなっていくのでしょうか？ いま注目されているのが、「セキュリティ・トークン」や「エンジェル税制を活用したベンチャー投資信託」です。たとえば、ブロックチェーンを使って発行されるデジタル証券(ST)は、従来の信託では扱えなかった資産もカバーできる新しい世界を切り開きます。

信託はもはや、“昔ながらの資産管理ツール”ではありません。デジタル時代の金融と法の接点として、再び脚光を浴びているのです。

■信託の本質は、変わらない。

この 100 年、信託は変化し続けてきました。戦後復興の資金源から、都市開発の推進役へ、そしていま、人生 100 年時代のパートナーとして、私たちに寄り添っています。けれどその根底には、いつも変わらない“信じて、託す”という思想があります。未来が不確実であるからこそ、信じられる人や仕組みに託したい。これまで、信託が日本の歴史とともにどのように進化し、私たちの生活と経済を支えてきたかをご紹介します。

- 安心の資産管理:「信託財産」として法律に守られた仕組みが、大切な資産を確実に保護します。
- 時代に合わせた進化:「企業年金信託」「公益信託」など、常に新しい手法で運用実績を築きました。
- 未来への静かな支え:将来に向け、「遺言信託」や「家族信託」をはじめとした仕組みが、安心して未来設計を行うための強固なパートナーとなっています。

信託はあなたの資産を守り、未来への一步を支える安心の仕組みです。ぜひ、ご自身の未来や大切な資産を守るために、この「信託サービス」を活用してみてください。

本日はご清聴いただき、誠にありがとうございました。

春の隅田川

隅田川

作詞:武島 羽衣

作曲:滝廉太郎

春のうらのの 隅田川
のぼりくだりの 船人が
權のしずくも 花と散る
ながめを何に たとうべき

見ずやあけぼの 露あびて
われにももの言う 桜木を
見ずやタぐれ手をのべて
われさしまねく 青柳を

錦おりなす 長堤に
暮るればのぼる おぼろ月
げに一刻も 千金の
ながめを何に たとうべき
ながめを何に たとうべき

唱歌担当:古澤伸之



隅田川 花火

